

前期 始業式 式辞

年度の始めに今年もまた、私は皆さんたちに勉強の話ではなく、友達の話をしたと思います。30年以上前、私が友人から無視された時の話です。

海外で暮らしていたときです。ほんの少しのすれ違いで、その当時仲良くしていた友人を傷つけてしまいました。誤解を解き、誤りましたが、彼女は激怒し、私を無視し続けました。誰かに、無視されることもそうですが、なによりも大切に築いてきたつもり
の友情が、こんなにも簡単に壊れてしまうことがひどく辛かったです。

当時仲良くしていたアメリカ人の友人にこの話をしました。彼は私に「あなたは心から謝ったのか？」と聞きました。「精一杯謝った」と答えると。では、あなたはもう何もしなくてもいい。人には「謝る責任」と同様に「許す責任」があるのだ。次は彼女が「許す責任」を果たす番だ。と話しました。許されないことに深く傷つき、おびえていた私をこの一言が救ってくれました。程なくして、友人とは和解しましたが、私はこの一件から多くのことを学びました。丁寧に築いてきたつもり
の人間関係でも、ほんの一瞬で壊れることがあるのだということ。そして「謝る責任」と同様に「許す責任」が存在するということ。

人は皆誰かと本気で関わると、意図しなくても傷つけたり、傷ついたりするものです。とくに若い皆さんはそうだと思います。ネットやテレビでは、間違いを犯した人が、反省し謝っても、糾弾され排除されていく姿が映し出されています。そこには「許す責任」は存在しないかのようです。そんな姿ばかりを見ていると、失敗することが怖くなります。けれどもどうか、恐れずにのびのびと人と関わってください。失敗して、誰かを傷つけてしまったら、その時は心から謝ってください。謝られた人は辛くても、ちゃんと許してあげてください。そうやって私たちはぶつかり合いながら成長していくのです。

そして、もう一つ。実は思春期に一番必要なのは「孤独な時間」だということも忘れないでください。誰にも迎合せず、孤高の自分だけの時間の中で人は考え、成長するのです。「孤独」を恐れしないでください。「孤独」はあなたの大事な友人です。一人静かに考えたいとき、図書室に行ってみませんか。自習室でもいいです。この学校には一人で過ごす場所が沢山あります。

1年が始まります。何を目標にしますか？どんな自分でありたいですか？この学校で何をしますか？沢山の選択肢の中から、自分で決めて、自分で進んでください。多様な他者と出会いながら、あるいは孤独な時間の中で、自分自身を成長させてください。我々教職員もそんな皆さんとともに歩みたいと思います。そのことをお伝えして、令和8年度 前期始業式式辞とします。